

Computer Setup

ユーザ ガイド

© Copyright 2006 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Intel は Intel Corporation またはその子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Java は Sun Microsystems, Inc. の米国における商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2006年5月

製品番号：416133-291

目次

1 [Computer Setup]の操作

2 [Computer Setup]の出荷時設定

3 [Computer Setup]のメニュー

[File] (ファイル) メニュー	5
[Security] (セキュリティ) メニュー	6
[Diagnostics] (診断) メニュー	7
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	7

索引	9
----------	---

1 [Computer Setup]の操作

[Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティで、オペレーティングシステムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。



注記 このガイドに記載されている[Computer Setup]のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

注記 [Computer Setup]ではポインティング デバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。

注記 USB 接続されている外付けキーボードは、USB レガシー サポートが有効な場合にのみ [Computer Setup]で使用可能です。

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Diagnostics]（診断）、および[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）メニューからアクセスできます。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10 = ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]には以下のショートカットがあります。

- 言語を変更するには、**f2** キーを押します。
 - 操作情報を表示するには、**f1** キーを押します。
 - 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押します。
2. **[File]**、**[Security]**、**[Diagnostics]**、または**[System Configuration]**メニューを選択します。
 3. [Computer Setup]を終了するには、以下のどちらかの操作を実行します。
 - 設定を変更せずに[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Ignore Changes and Exit]**（設定を変更せずに終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。
 - 設定を変更して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（設定を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

設定は、コンピュータを再起動したときに有効になります。

2 [Computer Setup]の出荷時設定

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10 = ROM Based Setup]というメッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]には以下のショートカットがあります。

- 言語を変更するには、**f2** キーを押します。
 - 操作情報を表示するには、**f1** キーを押します。
 - 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押します。
2. 矢印キーで[File] (ファイル) →[Restore defaults] (デフォルト設定に戻す) の順に選択し、**enter** キーを押します。
 3. 確認ダイアログ ボックスが開いたら、**f10** キーを押します。
 4. [Restore defaults]チェック ボックスにチェックを入れて、**enter** キーを押します。
 5. デフォルトの設定に戻すには、**f10** キーを押します。
 6. 設定を変更して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (設定を保存して終了) の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

設定は、コンピュータを再起動したときに有効になります。



注記 上記の手順で出荷時の設定に戻しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

3 [Computer Setup]のメニュー

以下のメニュー一覧では、[Computer Setup]のオプションの概要を示します。



注記 この章に記載されている[Computer Setup]のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

[File] (ファイル) メニュー

オプション	機能
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none">コンピュータおよびバッテリーの識別情報を表示しますプロセッサ、キャッシュおよびメモリ サイズ、システム ROM、ビデオのリビジョン、キーボードコントローラのバージョンの仕様情報を表示します
Restore defaults (デフォルト設定に戻す)	[Computer Setup]の設定を出荷時の設定に戻します。(このオプションを使用して出荷時の設定に戻しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません)
Ignore changes and exit (設定を変更せずに終了)	現在までに行った変更をキャンセルし、次に[Computer Setup]を終了してコンピュータを再起動します
Save Changes and Exit (設定を保存して終了)	現在までに行った変更を保存し、次に[Computer Setup]を終了してコンピュータを再起動します。変更は、コンピュータを再起動したときに有効になります

[Security] (セキュリティ) メニュー

オプション	機能
Setup password (セットアップパスワード)	セットアップパスワードを入力、変更、または削除します
Power-On password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します
Password options (パスワードオプション)	<ul style="list-style-type: none">● 厳重セキュリティを有効または無効にします● コンピュータ再起動時のパスワード要求を有効または無効にします
DriveLock passwords (DriveLockパスワード)	<ul style="list-style-type: none">● コンピュータのハードドライブおよびオプションのマルチベイハードドライブの DriveLock を有効または無効にします● DriveLock のユーザパスワードまたはマスターパスワードを変更します
	 注記 DriveLock の設定を操作するには、コンピュータの電源を入れて（再起動ではなく）[Computer Setup]を起動する必要があります
Smart Card security (スマートカードのセキュリティ)	スマートカードおよび Java™ Card の電源投入時認証を有効または無効にします
	 注記 スマートカードの電源投入時認証は、オプションのスマートカードリーダーを搭載しているコンピュータでのみサポートされます
	注記 この設定を変更するには管理者パスワードが必要です
TPM Card Security (TPM カードのセキュリティ)	Embedded Security for ProtectTools のオーナー機能への不正なアクセスを防ぐ TPM (Trusted Platform Module) Embedded Security のサポートを有効または無効にします。詳しくは、[ヘルプとサポートセンター]の『ProtectTools セキュリティ マネージャ リファレンス ガイド』を参照するか、Credential Manager for ProtectTools のヘルプを参照してください
	 注記 この設定を変更するには管理者パスワードが必要です
System IDs (システム ID)	コンピュータの、ユーザ定義のアセット タグおよびオーナーシップ タグを入力します

[Diagnostics] (診断) メニュー

オプション	機能
Hard Drive Self-Test options (ハードドライブの自己診断オプション)	システム上のハードドライブまたはオプションのマルチベイ ハードドライブに対する包括的な自己診断テストを実行します
メモリ チェック	システム メモリの包括的なチェックを実行します

[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

オプション	機能
Language (言語) (または f2 キーを押す)	[Computer Setup]の言語を変更します
Boot options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none">起動時の f10 および f12 キーの遅延を設定しますCD-ROM からのブートを有効または無効にしますフロッピーからのブートを有効または無効にします内蔵ネットワーク アダプタからのブートを有効または無効にし、ブート モード (PXE または RPL) を設定しますマルチブートを有効または無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスのブート順序を設定できますExpress Boot ポップアップの遅延を秒単位で設定しますブート順序を設定します
Device configurations (デバイス コンフィギュレーション)	<ul style="list-style-type: none">fn キーと左側の ctrl キーの機能を入れ替えますUSB レガシー サポートを有効または無効にします。このオプションを有効にすると、次のことが可能になります<ul style="list-style-type: none">Microsoft® Windows®がロードされていなくても、USB キーボード、マウス、およびハブを[Computer Setup]で使用できますコンピュータや別売のドッキング デバイス (一部のモデルのみ) の USB ポートに接続されているハードドライブ、フロッピー ディスク ドライブ内のフロッピー ディスク、およびオプティカルドライブを含めた、ブート可能な USB デバイスからコンピュータを起動することができますパラレル ポートのモード (EPP (拡張パラレル ポート)、標準、双方向、ECP (拡張機能ポート)) を選択します

オプション	機能
	<ul style="list-style-type: none"> ● BIOS DMA のデータ転送を有効または無効にします（一部のモデルのみ） ● 電源コンセントへの接続時にシステム ファンを有効または無効にします ● Intel または AMD の PSAE 実行無効設定を有効または無効にします。有効にすると、プロセッサで一部のウィルス コードの実行を無効にすることができます。この機能によりコンピュータセキュリティが強化されます ● SATA のネイティブ サポートを有効または無効にします ● デュアル コア CPU を有効または無効にします ● セカンダリ バッテリーの高速充電を有効または無効にします
Built-In Device Options（内蔵デバイス オプション）	<ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵無線 WAN デバイスの無線通信を有効または無効にします ● 内蔵無線 LAN デバイスの無線通信を有効または無効にします ● 内蔵 Bluetooth® デバイスの無線通信を有効または無効にします ● LAN/無線 LAN の切り替えを有効または無効にします。有効にすると、LAN が使用できない場合または切断されている場合に WLAN に切り替わります ● LAN 省電力を有効または無効にします。有効にすると、未使用時の LAN の電源がオフになり、節電できます ● 周囲光センサを有効または無効にします
Port Options（ポート オプション）	<ul style="list-style-type: none"> ● シリアル ポートを有効または無効にします ● 赤外線ポートを有効または無効にします ● パラレル ポートを有効または無効にします ● フラッシュ メディア リーダーを有効または無効にします ● USB ポートを有効または無効にします <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> 注意 USB ポートを無効にすると、アドバンスド ポート レプリケータのマルチベイ デバイスおよび ExpressCard デバイスも無効になります</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● CardBus スロットを有効または無効にします ● ExpressCard スロットを有効または無効にします

索引

C

- [Computer Setup]
 - [Diagnostics] (診断) メニュー 7
 - [File] (ファイル) メニュー 5
 - [Security] (セキュリティ) メニュー 6
 - [System Configuration] (システム
コンフィギュレーション)
メニュー 7
 - 操作 1
 - デフォルト設定に戻す 3

D

- [Diagnostics] (診断) メニュー 7

F

- [File] (ファイル) メニュー 5

L

- Language (言語)、[Computer
Setup]の変更 7
- LAN 省電力 8

S

- [Security] (セキュリティ) メニュー 6
- [System Configuration] (システム
コンフィギュレーション) メニュー 7
- System information (システム情報) 5

U

- USB レガシー サポート 7

し

- システム ファン 8
- 実行無効設定 8

せ

- セットアップユーティリティ
 - [Diagnostics] (診断) メニュー 7
 - [File] (ファイル) メニュー 5
 - [Security] (セキュリティ) メニュー 6
 - [System Configuration] (システム
コンフィギュレーション)
メニュー 7
 - 操作 1
 - デフォルト設定に戻す 3

て

- デフォルト設定に戻す 3

と

- ドライブ、ブート順序 7

は

- ハードドライブのテスト 7
- パスワード 6
- パラレルポートのモード 7

ふ

- ブートオプション 7
- ブート順序 7

め

- メモリチェック 7

